

事業評価結果(課・室)総括表

事業年度 令和8年度

部局名 教育庁

所属名 教職員課

(単位:千円)

事業名	福井県長期ビジョン における位置づけ	経費 区分	事業 開始 年度	事業 終了 年度	予算額	決算額	財源内訳			評価区分
							国庫	その他 特定 財源	一般	
教職の魅力発信強化事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和7年度	令和9年度	2,167	—	1,083		1,084	継続
⑧教職の未来づくり応援事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和8年度	令和10年度	2,119	—	1,059		1,060	—
ふくいのミライ教育研究支援事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和7年度	令和11年度	6,705	—		6,705		継続
⑧福井型スクールロイヤー配置事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和8年度	令和11年度	1,048	—	524		524	—
⑩県立高校・県立中学校のデジタル採点システム導入事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和4年度	令和11年度	3,208	—	1,604		1,604	拡充
先端教育研究推進事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成29年度	令和8年度	2,004	—			2,004	継続
教育博物館管理運営費	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成29年度	令和8年度	938	—			938	継続
部活動指導員配置事業(旧:部活動指導体制推進事業)	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成29年度	令和11年度	113,820	—	19,294		94,526	継続
地域人材による学校応援事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	平成30年度	令和11年度	64,592	—	21,522		43,070	継続
スクールロイヤー配置事業	1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進	政策的経費	令和2年度	令和7年度		—				完了
					196,601		45,086	6,705	144,810	

		教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす_人材力				経費区分	政策的経費
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和7年度
教職の魅力発信強化事業				事業終了年度	令和9年度
事業目的	教職の魅力や学校の創意工夫等の発信により、教職員の働きがいと働きやすさを向上するとともに、学校現場で不足している産育休等代替者の確保および教職を目指す人材を増やす。				
事業内容	(1)学校経営アドバイザーを配置(3名) (2)教育人材コーディネーターを配置(1名) (3)地域の教育人材の発掘や教職の魅力等を発信するためのシステム運用 (4)教職員の挑戦支援と表彰				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,167		1,083		1,084
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	育休の取得率 (%)	100	93	令和7年度
	活動指標	学校経営アドバイザー等訪問・相談等件数 (件数)	400	460	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の働きやすさ向上や人材確保に努め、育休取得率向上に寄与した。 ・学校経営アドバイザーは学校訪問に加え、電話相談や研修講師を行い、学校の負担軽減に貢献した。年度内に県内の小中学校、県立学校はすべて訪問を完了する見込み。 ・教育人材コーディネーターは、ペーパーティーチャー説明会(8回開催 54名が参加)の実施に加え、離職防止のため若手教員や臨時任用講師の面談を実施した。 ・学校経営アドバイザー、教育人材コーディネーターの訪問・相談件数は目標値を達成。 				
区分	継続				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす_人材力				経費区分	政策的経費
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和8年度
⑩教職の未来づくり応援事業				事業終了年度	令和10年度
事業目的	教職の魅力を経験・共有・発信できる機会と環境を整備することで、教職の魅力が自然に広がっていく好循環を生み出し、教職に関わる人材のやりがいと誇りを高め、福井県の教育を担う人材の確保・育成につなげる。				
事業内容	(1)授業づくり等の教職体験機会の提供 (2)若手教員のコミュニティ形成支援				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,119		1,059		1,060
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	教員採用試験出願者（人）	1,120		令和8年度
	活動指標	各イベントの参加者（人）	580		令和8年度
事業評価	—				
区分	—				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす_人材力				経費区分	政策的経費
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和7年度
ふくいのミライ教育研究支援事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	教育振興基本計画の「一人一人の長所や強みを伸ばせる学び」を推進し、「教員の働きやすさと働きがい」を両立させるため、子どもたちの学びを深めるための授業の研究を行ったり、教職員の業務改善に向けた研究に取り組んだりする教員グループの活動を支援する。また、その成果を県内教員に共有することで指導力向上を図る。				
事業内容	(1) 次世代教育開発研究：先端技術を効果的に活用し、学びを楽しむ新たな授業づくり・指導方法の研究や、教員の働き方を改善する研究（2,000千円：200千円×10件） (2) 教員技能向上研究：教員の自己啓発や指導力向上のための指導方法の研究や児童生徒支援の研究、教材開発（4,000千円：200千円×20件） (3) 教職大学院派遣：福井大学教職大学院の派遣研修教員に対する助成（705千円：141千円×5人）				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	6,705			6,705	
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	県内教員への成果発信（件）	35		令和7年度
	活動指標	研究等申請件数（件）	35	40	令和7年度
事業評価	・成果指標の実績判明は4月であるが、実践内容が多岐に渡るグループもあり、目標達成の見込み。 ・動画を成果物とすることで、効率的に研究成果を共有することができ、また、実践内容が伝わりやすいため、効果的に現場での実践につながると考えられる。 ・申請件数は、目標を達成				
区分	継続				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和 8年度
1 個性を伸ばす_人材力				経費区分	政策的経費
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進				事業開始年度	令和8年度
⑧福井型スクールロイヤー配置事業				事業終了年度	令和11年度
事業目的	スクールロイヤーによる法的な助言に加え、過度な要求・強要を繰り返す保護者に対して弁護士が代理（同席）対応できる仕組みを構築する。さらに教員研修も充実させ、学校現場の法的対応力を高める。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・弁護士による「助言型」「助言・代理型」相談 ・弁護士による教員研修の実施 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	1,048		524		524
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標				
	活動指標				
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標・活動指標については、教員の負担軽減のための環境整備が目的であり、指標を設定することが困難 ・相談を利用したことによる、学校現場の負担軽減・法的対応力向上を目標とする 				
区分	-				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度
1個性を伸ばす_人材力			経費区分	政策的経費	
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進			事業開始年度	令和4年度	
④県立高校・県立中学校のデジタル採点システム導入事業			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	デジタル採点システムの導入により、採点と成績処理、分析にかかる時間を短縮し、教員の業務負担を軽減するとともに、分析機能の活用やGoogleClassroomとの連携により、生徒一人ひとりの弱点等を把握し、個別指導に生かす。				
事業内容	○デジタル採点システムを全県立高校・県立中学校(26校)へ導入 【主な機能】・スキャナで答案を読み取り、記号回答の自動採点(1文字)、記述回答の連続採点、複数教員による分散採点をPC上で実施 ・採点結果の自動集計、観点・分野別分析、集計データのエクセル出力 ○高校入試でのシステム運用				
予算・決算額 (単位:千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	3,208		1,604		1,604
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	教員一人あたりの採点業務削減率	40%		令和7年度
	活動指標	研修会の開催	2回	4回	令和7年度
事業評価	・令和8年3月に学校にアンケート調査をし、成果指標の実績が判明する。 ・研修会の回数は目標を達成し、デジタル採点システムの使用者数増に寄与した。				
区分	拡充				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす_人材力			経費区分	政策的経費	
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進			事業開始年度	平成29年度	
先端教育研究推進事業			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	課題に挙げた分野について先進的な知見を有した研究者を特別研究員として招聘し、協働して新しい教育課題について取り組むことで県内の教職員および児童生徒に実践及び研究成果を活用できる形で還元することを目的とする。				
事業内容	(1) STEAM教育 (2) データサイエンス				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	2,004				2,004
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	研修や講座の参加校数(校)	100	136	令和7年度
	活動指標	教材や授業案の開発数(個)	5	20	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・STEAM教育、データサイエンス教育において、研修や講座の参加を目標通り達成することができた。 ・高志中学校などを協力校としたデータサイエンス教育の実践と学習会で、教材・授業案に関して目標を大幅に超えて達成することができた。 <p><実績></p>				
区分	継続	宇宙AIロボット開発講座参加校11校×7回=77校、データサイエンス学習会参加校59校、宇宙AIロボット開発講座での開発教材15個、データサイエンスでの教材・授業案5個			

	教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度	
1 個性を伸ばす_人材力			経費区分	政策的経費	
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進			事業開始年度	平成29年度	
教育博物館管理運営費			事業終了年度	令和8年度	
事業目的	<p>教育博物館は平成29年4月の開館以来、新型コロナウイルス感染拡大の令和3年度を除き、来館者数が増加している。今後も新規来館者・リピーターを増加させるためには魅力のある博物館にしていくことが重要である。そのため、常設展示の充実をはかるとともに、定期的な企画展や講座等を開催する。</p> <p>特に令和8年は開館10年および昭和100年に当たるため、開館以降、蓄積した研究の成果や未公開の貴重資料を展示する企画展を開催するとともに、展示室を一部リニューアルし、常設展の充実を図る。</p>				
事業内容	常設展の展示室リニューアル				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	938				938
事業評価指標		内 容	目標	実績	備考
	成果指標	来館者数(人)	16,000		令和8年度
	活動指標	企画展等開催回数(回)	3.5		令和8年度
事業評価	—				
区分	継続				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度
1 個性を伸ばす_人材力			経費区分	政策的経費	
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進			事業開始年度	平成29年度	
部活動指導員配置事業（旧：部活動指導体制推進事業）			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	教員の負担軽減を図るため、外部人材を活用した部活動指導体制への支援を実施する。				
事業内容	教員に代わって単独で部活動の指導や引率ができる部活動指導員を配置する。				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	113,820		19,294		94,526
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	時間外在校等時間月80時間以上の職員数（人）	0		令和7年度
	活動指標	部活動指導員の配置校数（校）	95	78	令和7年度
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成果指標は4月に取りまとめる予定だが、昨年度より改善傾向。本事業の調査結果によると、教材研究や会議、放課後の学習指導や生徒指導を行う時間の確保ができており、教員の負担軽減につながっている。 ・ 活動指標は未達。 （外的要因）条件に合う人材不足のため、中学校は53校、高校は25校の配置にとどまっている。				
区分	継続	（事業による要因）市町の財政事情による未配置。			

	教育庁	教職員課	事業年度	令和8年度	
1 個性を伸ばす_人材力			経費区分	政策的経費	
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進			事業開始年度	平成30年度	
地域人材による学校応援事業			事業終了年度	令和11年度	
事業目的	地域人材を活用して教員の負担軽減を図り、道徳の教科化や小学校英語強化等、新学習指導要領の円滑な実施に向けて、教員が教材研究に専念できる環境をつくることで、教員の力量を高め、児童・生徒の学力向上を図る。				
事業内容	学校運営支援員の配置				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	64,592		21,522		43,070
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標	時間外在校等時間月80時間以上の職員数(人)	0		令和7年度
	活動指標	学校運営支援員の配置校数(校)	248	214	令和7年度
事業評価	<p>・成果指標は4月に取りまとめる予定だが、昨年度より改善傾向。本事業の調査結果によると、「教材研究や宿題等を添削できる時間が増えた」や「休み時間に子どもと向き合う時間が増えた」など教員の負担軽減につながっている。</p> <p>・活動指標は未達。 (外的要因) 条件に合う人材不足等のため、214校の配置にとどまっている。 (事業による要因) 市町の財政事情による未配置。</p>				
区分	継続				

		教育庁	教職員課	事業年度	令和7年度
1 個性を伸ばす_人材力			経費区分	政策的経費	
1子どもが主役の「夢と希望」「ふくい愛」を育む教育の推進			事業開始年度	令和2年度	
スクールロイヤー配置事業			事業終了年度	令和7年度	
事業目的	学校が弁護士に直接相談できる体制を整備し、トラブルの未然防止や問題の早期解決を行い、教員の負担軽減を図る。				
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校担当弁護士による相談事業（主に児童生徒に関する案件に対応） ・県教育委員会顧問弁護士による相談事業（主に児童生徒に関すること以外の案件に対応） 				
予算・決算額 (単位：千円)	予算額	決算額	国庫	その他特定財源	一般財源
	100				100
事業評価指標	内 容		目標	実績	備考
	成果指標				
	活動指標				
事業評価	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標・活動指標については、教員の負担軽減のための環境整備が目的であり、設定が困難 ・相談を利用した管理職の約9割が負担感が軽減した、と回答 				
区分	完了				